

## 第2期「第4回桐生・みどり未来創生会議」開催結果概要

- 1 日 時 令和5年3月23日（木）午後6時00分から7時45分まで
- 2 場 所 みどり市役所笠懸庁舎 2階 第2会議室
- 3 出席者 委員 桐生市：荒木市長及び市民委員 5人（5人欠席）  
みどり市：須藤市長及び市民委員 7人（3人欠席）  
事務局職員 桐生市：4人 みどり市：6人  
観光部署職員 桐生市：2人 みどり市：1人
- 4 報道機関 3社（上毛新聞、桐生タイムス、Webタイムス笠懸 計4人）
- 5 傍聴者 10人（桐生市副市長、みどり市副市長、その他8人）
- 6 経過報告 第2期「第3回桐生・みどり未来創生会議」の開催結果概要を事務局から報告
- 7 会議内容 第4回会議では、これまで協議してきた「公共施設のあり方」と「広域観光」についてのまとめを行った。

### （1）「公共施設のあり方」のまとめ

両市が共同で事業を実施している施設（斎場・清掃センター・し尿処理施設・消防施設）の今後のあり方について、これまでの経緯と今後のスケジュール案を報告した。

また、共同事業以外の公共施設については、生活圏を共にする両市民にとって利用しやすい施設となるよう、整備等を検討する際には、必要に応じて両市で情報交換などを行うことを報告した。

#### 【市民委員からのご意見】

○今後の両市の共同事業に関する協議について、しっかりと進めてもらいたい。また、市民に説明してもらうとともに、市民の意見もくみ取ってもらいたい。

○共同事業に関する協議について、全体のスケジュールを策定してもらった方が、市民が分かりやすい。 など

### （2）「広域観光」のまとめ

両市が連携する広域観光の方向性について、首都圏からの誘客促進と両市の観光資源を発信できる機会を創出していくことを報告した。

#### 【市民委員からのご意見】

○地元の人がもっと地元を知って好きになることが大事なことだと思う。そうすることで観光に来てくれる人を温かく迎えることができるので、並行して進めてもらいたい。

○両市において、様々な体験ができる観光施設を、もっとアピールしていく必要がある。

○両市においてSNSの共有アカウントを保有するなどして、SNSの有効活用を進めてもらいたい。 など

(3) その他 第2期桐生・みどり未来創生会議を通しての各委員からのご意見

【市民委員からのご意見】

- 「共同事業のあり方」、「広域観光」については、丁寧に市民の意見を聞いて、具体的に進めてもらいたい。
- 両市の市長が参加する会議は、大変貴重であると思う。今後も、このような会議を継続して開催してもらいたい。
- 第3期桐生・みどり未来創生会議を開催する際には、オンラインやネット配信などの仕組みを導入する必要もあると思う。
- 今後、両市が都市間競争に立ち向かっていく必要があるので、引き続き強固な連携を図ってもらいたい。 など

8 両市長の総括

- 共同事業を実施している施設については、毎日稼働しなければならない重要な施設であるが、老朽化が進んでいるため、一刻も早く道筋を立てなければならない。引き続き、両市でしっかり議論を行う中で、市民委員からの意見等も参考にさせていただきながら取り組んでまいりたい。
- 「公共施設のあり方」、「広域観光」という二つのテーマについて、市民委員には様々な立場から意見をいただいた。今後は、市民目線に立った、わかりやすい情報発信を行いたいと考えている。両市がお互いにこれまで以上に交流や連携を深め、魅力的な地域となるよう両市で相談させていただきながら取り組んでまいりたい。引き続き、市民委員にも協力をお願いしたい。
- 第2期桐生・みどり未来創生会議委員の任期は、令和5年3月31日までであるが、両市長で話し合いを行う中で、第3期桐生・みどり未来創生会議を開催することの意向を市民委員に報告した。なお、委員の選任や協議内容などについては、今後両市で検討して進めることとした。

以 上